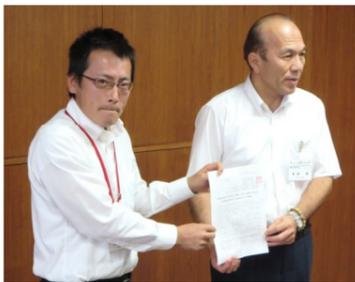


10/6県人事委員会「国給料表を0.38%上回る給与改定」勧告 ⇒市町でも「官民較差」を給料表・本俸で解消する給与改定を!

8月8日の「人事院勧告(国勧告)」は、「官民較差0.17%・708円」の約3割を「本府省手当改善」に充てました。昨年の「地域手当改善」に続き「本府省手当」に関係のない県内自治体では「官民較差を給料表で解消することが必要」なため、10月6日の「県人事委員会勧告」は「官民較差0.12%・432円」の解消へ「(国勧告を基礎に)較差の是正に必要な率(0.38%)を乗じて改定」しました。



■9月28日、西条市役所での「県市長会長への要請」に10市職代表と県本部14人が参加。県市長会の青野会長(西条市長)に、県本部市職評の渡部会長が『要請書』を手渡し意見交換。青野会長からは「市民福祉を向上させ、安心して地域で生活していただけるよう、理事者も組合も一体となって行政のレベルアップをはかりたい」「職員が心身ともに健康で『誇り』をもって頑張っていただくことが基本」など見解表明があり、10市職代表全員が「人材確保、人員不足の解消」「長時間労働やメンタル不調の対策強化」「非正規職員の雇用安定と処遇改善」など職場の実状と要望を発言しました。



■10月3日、県自治会館での「県町村会長への要請」に久万高原町職・内子町職・県本部の代表5人が参加。県本部町村評の和田会長が『要請書』を渡部事務局長に手渡し意見交換。「町役場では『町による安定した雇用の創出』『行政サービスの維持や将来への継承』のために計画的な正規職員採用がどうしても必要」など意見表明しました。

自治労連愛媛

第477号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
j-ehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 後藤 重人
編集人 村瀬 瑞恵
(組合員の購読料は組合費のなかに含まれています)

日 程

【10月】

- 11 県本部統一要求提出(全県各単組連名~14)
- 15 津島吉田病院労組大会
- 16 医療介護評幹事会(内子)
- 17 愛媛労連秋の要求行動(全県各地域~11/1)
- 19 県本部拡大執行委員会
- 20 いのちと地域を守る全国集会(東京)
- 21 自治労連全国バレーボール大会(広島~23)
- 27 今治市職定期大会
- 28 自治労連共済実務研修会(倉敷~29)
- 29 女性部幹事会

【11月】

- 2 保育大集会・政府国会要請行動(東京~3)
- 5 過労死予防シンポジウム(松山・愛媛労働局主催)
- 6 地方自治研究愛媛県集会(西予)
- 9 秋季年末要求実現・中央行動(東京)
- 15 県予算要求交渉(県庁)
- 17 県本部拡大執行委員会

【女性部】『じちはたに京都』平和・仕事・働きやすい職場へ学習&交流

9月3~4日、京都市で開催された「第36回自治体にはたらく女性の全国交流集会(略称『じちはた』)」に全国からの「1980年第一回集会」を『先輩からのビデオレター』で紹介。基調報告に続き、新居浜市職労の堀口美穂さんが7年前から行っている「産休・育休者懇談会のとくくみ」について「職場復帰や仕事への不安・思いなどを交流しあう絶好の機会として喜ばれている。『育休取得者のいる各課へ正

9月3~4日、京都市へ660人、愛媛から7単組12人が参加。京都市『自治はた』発祥の地、1日目全体会の初めに「1980年第一回集会」を『先輩からのビデオレター』で紹介。基調報告に続き、新居浜市職労の堀口美穂さんが7年前から行っている「産休・育休者懇談会のとくくみ」について「職場復帰や仕事への不安・思いなどを交流しあう絶好の機会として喜ばれている。『育休取得者のいる各課へ正

規職員配置を」の要求は管理職からも支持され、2年間は正規が配置された。実効ある『特定事業主行動計画』の実践を求めていく」と報告。記念講演では、憲法学者・木村草太さん(首都大学東京教授)が「平和主義と日本国憲法」をテーマに「理念や感情論だけでなく、緻密な憲法論の学習も必要」と話されました。2日目は「正規・非正規ともに働きやすい職場」「原発再稼働、その危険性と自治体の役割」などの分科会や見学分科会に分かれて学習、交流しました。

県本部女子バレーボール大会開催 西条市職労が全国大会へ出場!

9月19日、県本部第49回スポーツ大会「女子バレーボール」を四国中央市で開催。4チームが熱戦をくりひろげ、西条市職労チームが優勝、全国大会出場を手にしました。



①西条	21-4	今治
	21-13	
②新居浜	21-6	四国中央
	21-13	
[3位決定]		
今治	21-17	四国中央
	21-9	
[決勝戦]		
西条	21-15	新居浜
	21-11	

第57回地方自治研究愛媛県集会在西予

地域活性化・定住促進、安全安心のまちづくりで、
住み続けることができる地域・自治体づくりを

日時 2016年11月6日(日)10:00~16:00
日 場 愛媛県歴史文化博物館(西予市宇和町卯之町4-11-2)

全体会企画 13:35~ 記念講演・地元報告

「農林水産業をはじめ地域産業の活性化と定住促進—TPPの行方」
＜講師＞ 村田 武 先生 (愛媛大学アカデミックアドバイザー・愛媛地域総合研究所代表・農学博士)

「百姓百品のとりくみとめざすもの」
＜講師＞ 和氣 数男 さん (百姓百品グループ代表取締役)

- ①まちづくり・地域活性化・委託民営化・地方財政
- ②社会保障・住民福祉・医療介護・公衆衛生
- ③子どもの成長地域の安全安心を守る現業職場
- ④そこに人がいるから届けたい「いのちの水」
- ⑤保 育 ⑥「青年講座」生活賃金シミュレーション

午前中に
6つの分科会を
開催

『考えあおう!地域と職場の現在と未来』 ◎全国自治研から県自治研集会へ

10月1~2日、茨城県つくば市での「第13回地方自治研究全国集会」に2日間のべ2200人(愛媛14人)が参加。『共同の力で、まもろう、いのちとくらし、つくろう、憲法が生きる地域・日本』の共通テーマで、1日目「全体会」「3つのナイター講座・青年交流会」、2日目「27の分科会」で学習と実践交流を深めました。

全体会では、作家で明治学院大学教授の高橋源一郎さんが記念講演。次にパネラーと証言者を変え、戦争法、民主主義、安全安心、住民のくらしと自治体の役割を考えあうフォーラムがありました。青年交流会では「地域防災とは?」のテーマに静岡県下田市の防災担当の青年職員が「問題提起」。福島県いわき市への行政派遣経験を愛知県豊橋市の青年が「体験報告」。その後グループで「自治体と自治体職員は何かを、何をすべきか」真剣に、和やかに意見交換を行いました。



【内子】各職場で『16人勸』の特徴を学習し『共済キャンペーン』加入継続」よびかけ



内子町職は8月29日、9月12日にかけて「職場オルグ」を各職場で計6回実施。賃金対策部が『16人勸』での本俸・一時金が3年連続で改善されたこと、各種扶養手当の今後の動向、長時間労働や仕事と家庭の両立など内容・特徴を伝え、情

報を共有。職場の状況では、全体的に「人員が減り1人あたりの仕事が増え、残業が常態化している」という声が多く聞かれました。今回は『人勸学習』のほか、労働金庫が『個人型確定拠出年金』を案内。井口委員長から『自治労連共済キャンペーン』の更新について「セツト共済や火災共済にもぜひ加入を」とよびかけました。

【伊予】全職場で懇談会実施中！『職場の声集め、秋の要求前進へ』



伊予市職労は9月13日から「職場懇談会」を実施中。次のような「職場の声」が出されています。「技術職員は若手が少ない」「今年度、人数は変わっていないが発注が2倍…」本庁技術課。「どの課も同じと思うが人員不足。少なくとも現状よりは減らさないで」「実質1人で業務をこなして

いるので、後継者育成できない」本庁事務課。「保育士の仕事量が増え、保育士不足のなか退職が多くなっている」本庁福祉課。「時間差出勤になっているが、早出しても結局遅くまで残っていることが多い」「勤務中に時間がないが帰りの残業がある」「プール等、着替えることがあるので更衣室が欲しい」保育所。引き続き10月中旬まで組合員全員対象に26カ所で開催します。

【今治】仕事の悩み語る「しゃべり場」『元気になれる場』と実感



今治市職女性部は9月27日「保健師しゃべり場」を開催し7人が参加。職場交流では「育児休暇取得期間2年以上の保健師もおり正規代替が必要」「嘱託職員が産前産後休暇を取得しているが、育児休暇は取得できないのか？」「介護休暇を3分割で取得できる制度は早急に条例改正を」などの

意見が。『自治はた』参加者は「公務員が訴えられる事件が増加。安易な約束はしない。一人で判断しない。研修等で適切な対応を身につける」大切さを報告。『認知症研修』報告では、高齢者を対象にした健康教育で『長寿遺子』について学習。3時間があつという間、みんなが集まる「しゃべり場は本当に元気になれる場」と実感しました。

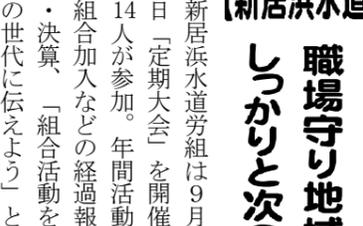
【内子社協】保育士確保・魅力的な職場をもち帰り残業解消など交渉



県自治体一般コロナ分會（内子社協）は9月1日、役員・組合員14人が参加し団体交渉。「保育士確保」について理事者側から「職員不足は認識しているが、募集しても来ない。現在も保育士5人募集中だが、本音は5人以上採用したい」と回

答。組合は「保育士確保には「魅力的な職場づくり」が必要」と「持ち帰り残業と書類の簡素化」を要求、理事者側は「時間外は園長の指示あるものは手当を支給。持ち帰りをなくすには、業務を園内で行うことが必要。職員の家庭事情もあり検討する」と回答。そのほか「55歳昇給抑制」や「育児休暇の期間拡大」など交渉しました。

【新居浜水道】職場守り地域良くする組合活動『しっかりと次の世代に伝えよう』



新居浜水道労組は9月28日「定期大会」を開催し14人が参加。年間活動と組合加入などの経過報告・決算、「組合活動を次の世代に伝えよう」とよびかける方針・予算を全員一致で承認。大野委員長が「人口減少や格差拡大に社会の流れのなかで『組合の大切さ』が増

している。組合が役割を果たす会社や行政組織が生き残ると思う。チームワークで仕事をするのが水道職場、みんなで要求交渉できる組合をめざしたい。『組合活動が地域を良くする』と実感できるようにしたい」と決意表明。大会後「自治労連加入10周年記念」懇親会

【山】共済キャンペーン35%が継続加入 労働環境・パワハラなど要求集約



松山市職労は9月12日「執行委員会」を開催し12人が参加。現業分会の『自治労連共済支え愛キャンペーン』の加入継続について、曾根書記が「今日までに35%が継続。ひとり職場の組合員さんにも今月中旬までに声をかけます。キャンペーン実施で『共済加入』を考

えてくれた組合員さんが増えたことが一番の成果です」と笑顔で報告。その後、10月上旬の役員選挙、10/13単組要求書提出、10月中団体交渉実施、11月の中央行動に2人参加、11/28定期大会開催など『秋の要求活動・組織強化拡大』のとりくみを相談。また「7月学校給食調理員が熱中症で救急搬送の件が9月議会

で議員質問される」「出先職場のパワハラの相談が組合にあった」など職場報告がありました。

■今年の運動会は3回も延期になりましたが子どもたちの元気な様子に元気をもらいました。(西条・藤原)

■2週続けて孫たちの運動会を見に行きました。上の孫は中学校最後の運動会でした。それぞれ胸に秘めた思いを込めてがんばっていたので、どちらも感動をもらいました。(西条・宮城)

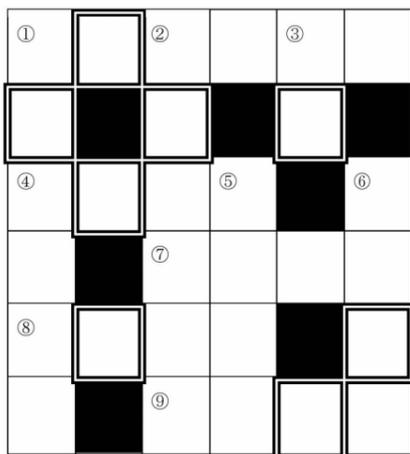
■これからインフルエンザの時期。家族みんなが罹らなければいい。(大洲病院・吉川)

おたより ありがとう

■2週続けて孫たちの運動会を見に行きました。下の孫は小学校最後の運動会でした。それぞれ胸に秘めた思いを込めてがんばっていたので、どちらも感動をもらいました。(西条・宮城)

■納豆に1センチ角くらいに切ったトマトを混ぜて食べたところ、とっても美味しいのははまって。(西条・羽藤)

■もう2度と鼻から胃カメラを入れることはないでしょう。(四国中央・山岡)



出題者 堀川孝行

【ヨコのカギ】

- ①○○○○○○⇔生産者
- ④脅迫や暴力で他人の物を無理矢理奪う犯罪
- ⑦地声で出せない高音部を技巧的に発声する声。⇔ファルセット
- ⑧会社などに来ること。11時に○○○○予定
- ⑨いまひとつ。○○○○調子が出ない

【タテのカギ】

- ①料理などであらかじめ材料に手を加え準備すること
- ②重苦しく陰気、心が晴れ晴れしない。○○○○長雨
- ③個人の支払う費用。○○⇔公費
- ⑤家の裏のほうにある山
- ⑥切りつけて相手の流した血。○○○○をあびる

■475号のバズルの答えは「コウキョウジギョウ」(公共事業)でした。正解は6通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

西川 祐也(四国中央)
西村 恵美(宇和島)
羽藤 彩乃(西条)
小林 弘樹(津島吉田)
白石 聡(今治)

【応募方法】バズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載

【締切り】11月27日【発表】479号(12月号)